

令和7年度 第1回 花川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月20日（火） 14時00分から15時45分まで
- 2 開催場所 花川小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 高倉 学、佐々木 聡、長谷 寿美子、名倉 招司、田中 朋子、
高倉 毅文、牧澤 和美、松下 悠里
- 4 欠席委員 武田 則治
- 5 オブザーバー 新田 浩一（花川町自治会長）、岡埜谷 幸孝（西丘町自治会長）、
鈴木 克隆（北部協働センター）
- 6 学 校 池野 由香里（校長）、中村 敦（教頭）、中村 好明（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 好明
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、佐々木委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）令和7年度学校運営に関する基本的な方針の確認について
- （2）いじめ防止等のための基本方針について
- （3）花川小の学校支援活動計画について
- （4）「夢育やらまいか事業に対する意見書」について

11 会議記録

司会の中村（教頭）から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和7年度学校運営に関する基本的な方針の確認について

議長の指示により、池野（校長）から、別紙資料に基づき令和7年度学校運営に関する基本的な方針の確認について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 5年前と今のスライドを比べると、子供の数が多くなり活気が出てきた。（高倉委員）
- ・ 親としては過保護になりがちだが、レジリエンスという言葉を知り、今後は子供を見守っていききたい。（松下委員）
- ・ いやなことがあると、なかなか言わない。聞くようにはしている。（牧澤委員）
- ・ 子供は自分の気持ちを伝えることが、なかなかできない。言うタイミングが欲しいようである。（田中委員）
- ・ しやべってくれば解決策も見つかるが、しゃべらないと何もできない。（高倉委員）
- ・ スライドは大変分かりやすい。（佐々木委員）
- ・ 親としては精一杯育てたつもりだが、なかなか聞いてあげられなかった。大人よりも子供の方が物事に対する対応力がある。（長谷委員）
- ・ 「自分も好き相手も好き」という言葉は素晴らしい言葉である。（高倉毅委員）

・ 母親に対してはよくしゃべるが、ほかの者は聞かないとしゃべらない。(名倉委員)
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等のための基本方針について

議長の指示により、中村(教頭)から、別紙資料に基づきいじめ防止等のための基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 説明を聞いて、この学校にもいじめがあることに驚いている。(高倉委員)
- ・ 数は多いが、小さなものもすべて挙げているので多くなっている。問題が小さいうちにしっかり解決しようとしている。(池野(校長))
- ・ きめ細かに行っていることが分かった。(高倉委員)
- ・ いじめのとらえ方に差があるので難しい問題である。(高倉毅委員)
- ・ アンテナを高くして、ていねいにいじめに対応していった結果、数も多くなっている。(中村(教頭))
- ・ 感じ方に差があるため、なかなか難しい問題である。(池野(校長))

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 花川小の学校支援活動計画について

司会の指示により、佐々木委員から、別紙資料に基づき花川小の学校支援活動計画について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ これを見れば、活動が分かってとても良い。(新田(花川町自治会長))
- ・ 自治会としてボランティアの協力もしていかなければいけないと思うが、なかなか高齢者が多くなり、難しい問題である。(岡埜谷(西丘町自治会長))
- ・ お孫さんが学校にいるときに協力してくれるとありがたい。(高倉委員)
- ・ 去年参加させていただいたので、今年も協力していきたい。(鈴木(北部協働センター))
- ・ ペットボトルのキャップがワクチンに変わるまでの過程が分かりましたので、みなさんに資料を配った。(高倉毅委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 「夢育やらまいか事業に対する意見書」について

司会の指示により、中村(教頭)から、別紙資料に基づき「夢育やらまいか事業に対する意見書」について説明があり、目的・内容共に理解した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和7年7月30日(水)午後2時から2階会議室で開催する旨の報告があった。